

## 「赤い鳥」の標榜語

○現在世間に流行してゐる子供の讀物の最も多くは、その俗惡な表紙が多面的に象徴してゐる如く、種々の意味に於て、いかにも下劣極まるものである。こんなものが子供の眞純を侵害しつゝ、あるといふことは、單に思考するだけでも怖ろしい。

○西洋人と違つて、われ／＼日本人は、哀れにも殆未だ嘗て、子供のために純麗な讀み物を授ける、眞の藝術家の存在を誇り得た例がない。

○「赤い鳥」は世俗的な下卑た子供の讀みものを排除して、子供の純性を保全開發するために、現代第一流の藝術家の眞摯なる努力を集め、兼て、若き子供のための創作家の出現を迎ふる、一大區劃的運動の先驅である。

○「赤い鳥」は、只單に、話材の純清を誇らんとするのみならず、全誌面の表現そのものに於て、子供の文章の手本を授けんとする。

○今の子供の作文を見よ。少くとも子供の作文の選擇さるゝ標準を見よ。子供も大人も、甚だしく、現今の下等なる新聞雜誌記事の表現に毒されてゐる。「赤い鳥」誌上鈴木三重吉選出の「募集作文」は、すべての子供と、子供の教養を引受けてゐる人々と、その他のすべての國民とに向つて、眞個の作文の活例を教へる機關である。

○「赤い鳥」の運動に賛同せる作家は、泉鏡花、小山内薫、徳田秋聲、高濱虚子、野上豊一郎、野上彌生子、小宮豊隆、有島生馬、芥川龍之介、北原白秋、島崎藤村、森森太郎、森田草平、鈴木三重吉其他十數名、現代の名作家の全部を網羅してゐる。